

戸田市議会議員 **無所属**あそ^{かず}う^{ひで}和英戸田っ子の笑顔に**全力**

子どもの安全
見守り隊

【略歴】 笹目小・美笹中・大宮高校・法政大学卒業、証券会社（山一証券）、美容室VASE代表、戸田市スクールソーシャルワーカー 【資格】 美容師、社会福祉士、精神保健福祉士、防災士 【地域活動】 ■笹目6丁目「子ども見守り隊」副隊長 ■戸田美容組合副支部長 ■元市PTA連合会副会長 ■元美笹中PTA会長 ■元戸子連笹目支部長 ■町会長 【趣味】 ソフトバレーボール、映画鑑賞 【家族】 妻と息子
発行：あそう和英後援会 〒335-0034 埼玉県戸田市笹目6-3-4 TEL048-422-0757
ホームページ： <https://asokazuhide.com/> メールアドレス： info@asokazuhide.com

討議資料

こんにちは。新型コロナウイルス感染症がいまだ終息しない中、新しい生活様式のもと、市民活動が徐々に再開し始めています。一方で、外出自粛により、体力が減少し、将来への不安が高まっているように感じます。正しい情報をもとに、ウォーキングやラジオ体操など軽い運動で気持ちを戻していただきたいと思います。地域の方やお友達に声を掛け合い、新しい日常を創造していきましょう。さて、9月定例会は、令和元年度の決算認定がメインテーマでした。また、学校関係では今定例会の補正予算の議決により、今年度末までに小中学校で一人一台の端末が整備されることになりました。また、一般質問では、相談事業の強化や防災について取り上げました。今回のレポートでは、一般質問で取り上げた内容を一部報告いたします。

浅生 和英

〈水害対策〉

2019年の台風19号で床上浸水被害多数！早急な対策が必要！
護岸工事を優先してきた治水対策の工事方法見直しを！

Q. さくら川の護岸工事と溢水した箇所への緊急対策を！

笹目川の堤防高が4.9m、さくら川の早瀬橋から野竹橋までの現状の堤防高は4.2～4.7m、笹目川とさくら川はつながっているため、笹目川が溢水する前にさくら川はすでにあふれている。

A. 治水機能の向上を図るため順次護岸整備を進めていたが、昨年の台風19号による記録的な大雨で溢水した。今年度中に、辺島橋上流の護岸整備済箇所から新大宮バイパスの宮前橋までの区間において、計画堤防高まで先行して鋼矢板護岸を整備する。早瀬橋から野竹橋までの区間は、緊急対策として、昨年の台風第19号の影響による溢水時の水位に対応できるよう土のうを設置する。今後とも、さくら川の未整備区間における護岸整備について、鋭意進める。

Q. さくら川の治水対策は他にどのような対策をしているか。

A. 河川断面を維持するため、昨年度は、道満橋から堀之内橋までの区間、河床に堆積した土砂を撤去した。今年度も、堀之内橋から神明橋までの区間において実施予定。

■2019年台風19号による水害



▲ 溢水した水が住宅街から菖蒲川へ



▲ 笹目南町さくら川溢水箇所

— 要望 —

笹目川、さくら川、ポートレース戸田を含む戸田ポートコースは、全てつながっている、一部だけが溢水し、一部だけが浸水することの無いよう治水計画を早急に県と進めること。



〈マンホールポンプが有効！〉

雨水の通り道にメスを入れる！効果的に雨水を誘導することで内水被害を最小限に！

Q. 笹目南町の内水対策について。

笹目南町のあるマンションの北側道路からまきば幼稚園までの道路冠水が頻繁にあるとの声を聞いている。また、内水ハザードマップでも「浸水しやすい区域」となっているが、当該地区の内水対策はどうなっているのか。

A. 下水道の基本的な整備水準は、時間当たり最大降雨量 50 ミリ程度であるのに対し、近年の気候変動に伴い、時間当たり 100 ミリ近くの雨量を観測する豪雨が毎年のように発生。笹目南町の一部が豪雨の際には、下水道の排水能力を超え、浸水被害が発生する状況。このことから、今年度、笹目南町では、浸水被害の軽減を図るため、排水能力の向上を目的として雨水枡を増設した。また、土砂が堆積して排水機能が損なわれていた所は、道路管理者の埼玉県に清掃を依頼し、対応した。

Q. 笹目2丁目に浸水対策として雨水マンホールポンプ(排水施設)を設置した。

市内で 90 ミリを超える雨量を観測した 8 月 13 日にはこの雨水マンホールポンプが稼働した。一定の効果を発揮し、浸水被害を抑制できたのではないかとと思う。同様のものを笹目南町に設置してはどうか？ また、効果が期待できる浸水対策として市内浸水多発箇所はこの排水施設を設置してはどうか？

A. ゲリラ豪雨等で浸水被害が頻発していた笹目2丁目地区に、対策として雨水マンホールポンプを本年度設置したところ。8 月 13 日の局地的な豪雨では、この雨水マンホールポンプが有効に稼働し、浸水被害の報告はほとんどなかった。今後、同様の雨水マンホールポンプを設置することにより効果が期待できる場合は、設置について調査・研究する。内水被害のある地域、笹目南町における浸水被害の発生要因を分析し、雨水を確実に河川等に排水できることから様々な設置条件はあるが、設置場所、有効性等を含め今後検討してまいります。

〈高速道路への避難行動は！〉

いざという時に、避難方法の選択肢として、高速道路へ上がることはできるのか！

Q. 大規模水害時に高速道路への避難は可能か！

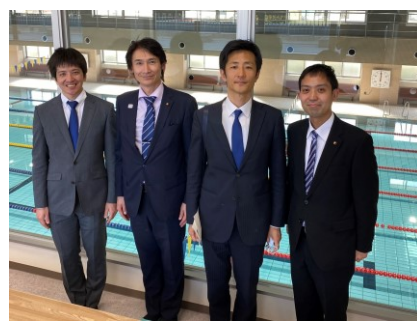
市内の高速道路は、高架になっていて荒川の堤防が決壊するなど大水害の時には垂直避難・広域避難には有効と考える。命を守る必要がある緊急事態に、高速道路へ自転車を含む歩行者が避難することは可能か。関係各所との協議などを事前しておくべきだと思うが見解を伺う。

A. 特に荒川が氾濫する大規模災害発生時には、市内全域が浸水する恐れがある。このことから、できる限り早い段階で、戸田市外の浸水しない地域や親戚・知人宅等へ避難する「早期の広域避難」を強く呼びかけている。また、万が一逃げ遅れてしまった場合には、命を守るための最善の行動として、近くの3階以上の建物等の高層階への「垂直避難」を推奨している。高速道路へ垂直避難することは、浸水から命を守るための緊急手段の選択肢の一つとして考えられる。荒川氾濫時の緊急避難時における高速道路の活用可否について、管理会社と協議の場を設けるところから取り組んでいきたい。

あそうの 写真日記



▲一般質問登壇



▲市民プールオープン (6/29～)



▲菅原市長と政策について

ご支援をお願いいたします！

あそう和英の活動を支援していただける方を募集しています。事務所でのお手伝い、政策レポートのポスティング、あそう和英を友人・知人に紹介いただくなど、どんなことでもかまいません。是非、お力をお貸しください。郵送、お電話、メール(info@asokazuhide.com)にて受け付けています。市政に関するご意見もお待ちしています！



編集後記

9月定例会の一般質問で登壇をする当日未明に、3匹の子猫を保護しました。かなり迷いましたが、家族会議の末、家族の一員として迎えることにしました。アン(三毛)、ミタ(茶)、ユキ(白黒)と名付けましたニャ(=^_^=)

